

(社)三原青年会議所
5月例会

“地域の教育力先進都市”を目指して

出雲に学ぶ!! 家庭・学校・地域が連携して子どもたちを育むシステムの確立 を開催!!



コミュニティ・スクール制度とは…

保護者や地域の皆さんの声を学校運営に直接反映させ、保護者・学校・地域・教育委員会が一体となって、より良い学校を作り上げてゆくことを目指す制度です。

学校運営協議会とは…

コミュニティ・スクール制度を活用するにあたり、各学校において保護者・学校関係者、地域の代表者によって構成された組織で、学校の運営方針に対して意見を述べたり、学校に起こった問題・課題に対して話し合いを行います。

はじめに

5月19日に三原国際ホテルにて五藤市長・植木教育長・市議会議員・市内の各小学校の校長・PTAや地域の方々、合計40名に参加していただき公開例会を開催しました。島根県出雲市より3名のパネリストにお越しいただき、コミュニティ・スクールについて生の声を聞かせて頂きました。



【パネリストプロフィール】 (写真左から)

出雲市教育委員会 学校教育課 教育研修係 係長—武田 寿博 氏
出雲市立 大社小学校 校長—松本 俊憲 氏
出雲市立 大社小学校 PTA会長 兼 地域学校運営理事会 副理事長
〔(社)出雲大社青年会議所OB〕—岩石 秀一 氏

「アクションを起こす」「人事権の委譲」

花田委員長 コミュニティ・スクールを導入した目的とそこに設置される「学校運営協議会」と既存する組織との違いは何でしょうか？

武田係長 コミュニティ・スクール制度を導入するにあたり、学校の支援団体として「学校の応援団」というキャッチフレーズで「学校運営協議会」を設置しました。評議員制度も全国各地で取り入れられていますが、大きな違いは校長の運営方針を承認したからにはアクションを起こしてもらうことだと思います。校長の運営方針を「学校運営協議会」が承認するという点については、校長や地域の方々からも当初は反対意見が多くありましたが、説明会や校長会で説明することで徐々に理解していただきました。もう一点、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、人事に関する意見を述べることもできるのも大きな違いだと思います。

「学校運営協議会がフォロー」

花田委員長 学校の立場で「学校運営協議会」をどの様に捉えていますか？

松本校長 これまでは様々な問題に対して個別に対応を行ってききましたが、それだけでは十分な対応は難しいと感じます。そこで、現在学校が抱える問題について、一まとめにして話し合うことが大切だと思います。また、問題の解決や外部からの圧力に対して、これまでは校長が矢面に立って対応を行っていましたが「学校運営協議会」があることにより協議会メンバーにフォローしてもらい、みんなで学校を守ろうとする意識が高まったように思います。

花田委員長 先生の意識はいかがでしょうか？

松本校長 先生の中には、人に授業を見せたくないという気持ちがあるようですが、これは良くないことです。だから、生徒を連れて他のクラスに見学に行かせるなどして、先生が裸になる環境を作っています。しかし、まだまだ学校というところは閉鎖的なところが多くあります。そこをオープンにして地域に公開し、より多くの地域の方に見ていただける様に進めていくことも重要だと思います。大社小学校でも一日授業公開日を設けてその環境整備を進めています。

みたかきいたか

子どもは親の写し鏡とよく言われるもので、子どもの行動から親の真の姿が本当に見て取れる。実際私も親の立場になって初めて子どもの躰にはつくづく手を焼いている。他人様に迷惑をかけることはしてはならない、きれいな言葉遣いをしなさいと子どもを叱る自

分がある。この言葉も小さい頃に私の親や祖父母からこっぴどく叱られた経験から出ているものだと気づき、改めて両親に頭が下がる。◆「モンスターペアレント」という言葉を耳にした。主に保護者が学校に対して繰返し理不尽な要求をする行為の和製英語である。現在では本来の役割ができない学校が増え、国がこれに対応する法を整備さ

せるまでに発展しようと社会問題化している。このような保護者が増える背景には、核家族化により地域との人関係が希薄になった結果、その不満の出口が直接学校に向けられたものだと考えられている。◆しかしながら、国が怪物に拳骨いれたところで、根本的な問題は解決しないだろう。地域ごとで家庭の心を育てる環境作りが急務

である。元を正せば解決への道のりはそう遠くないはずだ。◆地域から厳しくも暖かく見守られていると実感し、光り輝く鏡たちが明るい未来を照らすまちとなることを願う。

父の拳骨ほど忘れられない味はない。